

埼玉スタジアム2002公園管理運営指針（概要版）

1. 本公園の現況と課題

<p>①特性</p> <p>■施設特性</p> <ul style="list-style-type: none"> W杯クラスの国際試合開催可能なサッカー専用スタジアム サブグラウンド等のサッカー関連施設がまとまる 広場等のイベントスペース <p>■立地特性（美園地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口急増、ファミリー層流入 新たなまちづくりの進展 	<p>②これまでの取組成果</p> <p>■スタジアム</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本代表戦、Jリーグ戦等の大規模試合開催 <p>■園内（スタジアム以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民のサッカー利用促進 フリマ、エクササイズ等 <p>■園外</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅からのアクセス道路の維持管理等 	<p>③取り巻く社会潮流</p> <p>■まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 美園地区では地域コミュニティの形成や賑わい創出が地域課題 <p>■スポーツ振興</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツを通じた地域の活性化 サッカーのまち さいたま <p>■近隣のスタジアム整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新国立競技場等 <p>■公園等の地域活性化への期待</p>	<p>④今後の公園づくりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○訪れる機会を増加させる魅力的な機能の充実・展開 ○地域住民の交流の場の提供と機会の創出 ○公園の施設特性、立地特性を生かした企画の充実 ○ピッチ環境の維持とスタジアム利活用の両立 ○主催者と利用者のニーズに応えた満足度の向上 ○交通アクセス環境の改善 ○公園利活用時の周辺地域への配慮
---	--	---	--

2. 将来像

人をつなぐ、まちをつなぐ、伝統をつなぐ

- ・暮らしの中の広場となり、地域住民が憩い、安らぎ、交流する。
- ・多様なアクティビティで園内が賑わい、多くの人々が美園を訪れる。
- ・スタジアムは歴史と伝統ある埼玉のサッカーを象徴し、次代に夢と希望を与える。

3. 基本目標

<p>■暮らしの中の広場として住民の交流の核となる公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の日常的な公園利用を促進する施設・スペース・イベント等の充実 ・地域住民のニーズ把握、管理運営等に取り入れる仕組みづくり ・駅～公園の動線の環境向上 	<p>■年間通じて多様なアクティビティで賑わう公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーの試合のみならず多様なイベント等の開催を志向 ・本公園ならではの独自性ある企画の開催を重視 ・来園者の安全確保・滞在時間の分散 	<p>■誇りあるサッカーのまちを象徴する公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に誇るサッカー専用スタジアムの環境を維持し更に高める ・様々なサッカーの試合誘致、試合主催者・観戦者の満足度向上、埼玉のサッカーの歴史等を伝える機会の充実
---	--	--

4. 管理運営等に係る基本的事項

<p>【公園全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な憩いの場としての機能と機会の充実 ・多様なレクリエーションニーズへの対応 ・サッカーに親しむ多様な機能と機会の創出 ・公園周辺への配慮 	<p>【スタジアム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な利活用ニーズへの対応 ・地域住民のスタジアム利用機会の創出 ・試合環境・観戦環境等の向上 	<p>【交通アクセス環境の改善・向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来園者の入退園時間の分散 ・公園外での円滑な移動のための誘導 ・アクセスルートにおける演出
---	---	--

《委員会による審議》

- ・多くのアイデアを実現できる柔軟性を持ちながら、明確な将来像を示すことが指針には必要
- ・サッカー利用を尊重しつつ、その他の利用を受け入れ、地域と共生する日常利用の広場でもあるべき
- ・利活用促進には、美園に位置する地域性、また、サッカーや埼玉などのテーマ性を持つことが重要

- ・サッカー以外の利用を行うため、芝生利用のフレキシビリティを考えていくことが必要
- ・試合環境の質を保ちながら、より多くのイベントを実施するよう努力すべき
- ・イベント時は、音など周辺他施設への影響を考慮することが重要